

## 《目次》

1. ホームカミングデーと共に例年の NDC 情報交換会が開催されました。
2. 『ビジネスアイデア・コンテスト』に、NDCから5万円の協賛賞金
3. 『電気系学科(課程)、講座・研究グループの変遷』表が完成しました。
4. 会誌49号のアンケートの結果
5. 府大の主なトピックス
  - (ア) ESD を取り入れた高校生を対象とする宇宙教育事業推進
  - (イ) 府立大7年ぶりV 琵琶湖で鳥人間コンテスト
  - (ウ) 抗がん剤をエクソソームにいれて腫瘍に運ぶシステムを開発中

### 1. ホームカミングデーと共に例年の NDC 情報交換会が開催されました。



中百舌鳥電気クラブでは毎年ホームカミングデーに合わせて情報交換会を開催しています。今年も11月3日にA4棟の1室を借り切り恩師の先生方、中百舌鳥電気クラブの役員、会員の皆さん方が適時集い、簡単な茶菓子なども用意され懐かしい皆さん方同志 旧交を温めました。

### 2. 『ビジネスアイデア・コンテスト』に、NDCから5万円の協賛賞金

ビジネスアイデア・コンテストは府大の21世紀科学研究機構Fledge事務局が主催して「アントレプレナー教育の実施」のために行っています。

中百舌鳥電気クラブでは現役学生支援のため中百舌鳥賞5万円の賞金を出し協賛しました。今回は学生、院生から44件の応募があり、事前審査を通過した12件が今回の最終審査会上がってきました。

各々のアイデア毎に5分間のプレゼンおよび質疑が行われ8名の審査員で審査されました。

『GPS不要のリアルタイム駅案内アプリ』、『伝統産業『注染』の世界展開プロジェクト』、『ローカル・クラウド・ソーシング』、『観光客同士を繋ぐQ&Aアプリ』、『災害医療を変革する臨床検査システムの構築』等々のユニークなアイデアが次々にプレゼンされました。

中百舌鳥電気クラブ賞は『海中からのリチウム抽出』と言う工学D2の計(はかり)賢君からの提案に授与しました。

### 3. 『電気系学科(課程)、講座・研究グループの変遷』表が完成しました。

同窓会、同期会、幹事会などで『自分の学んだ講座・研究グループがどんな変遷を辿って、今どこに受け継がれているのか知りたい』との要望をよく耳にします。

しかしながら、大学の学務課にも学生課、各研究室にもこの様な系統だったデータが残っていませんでした。

今般、名誉教授、現役の先生方、中百舌鳥電気クラブの役員などで「講座・研究グループの変遷図」作成と言う膨大な作業にチャレンジしました。

資料の調査、引退された先生方への聞き取り、学校への確認、多くの人への検証……等々の膨大な作業を経てついに完成に至りました。

我々が学んだ電気・電子系は、1949年(昭和24年)に浪速大学・電気工学部門として開設され、1952年(昭和27年)に電気工学科に改称されたのをルーツとして、

1955年(昭和30年) 大阪府立大学への改称

1961年(昭和36年) 電子工学科の新設

1993年(昭和35年) 工学部の再編

1995年(平成7年) 小講座制から大講座制への移行

2012年(平成24年) 学域、学類制への移行

などなどの大きな節目を経て、学びの領域、分類、名称などが変化して来ましたが、この変遷を一覧表に纏めた労作が完成しホームページに収録する事が出来ました。

作業にたずさわって頂いた皆様方、特に中心となって纏めて頂いた武田名誉教授、梶野庶務理事のご努力にはただただ頭が下がります。

また、依頼に応じて、さまざまな有益な情報を提供して下さった会員の皆さまに厚く御礼申し上げます。

この労作は、今年度の会誌でも50号記念として一覧性に優れた折り畳み形式の形でお届けする予定にしています。

#### 4. 会誌49号誌のアンケートの結果

49号誌アンケートの集計がまとまりましたのでご報告いたします。

二十数名の方々から回答を頂きました。ご協力ありがとうございました。御礼申し上げます。

アンケート結果の概要は以下の通りです。

◎よく目を通すコラムについて

12項目の内「①最近の母校状況」、「④母校ニュース」、「⑨各期のページ」の3項目で6割を超える回答がありました。

◎「母校ニュース」について

6項目の内「②研究室紹介」、「③府大って素晴らしい」、「④卒業生の就職先」の3項目で7割を超える回答がありました。

やはり、OBにとって、現在の母校や卒業生がどんな状態にあるのかもっとも気になる場所です。大学間の競争が世界的に激しくなっていく時代に向け、母校も更なる躍進を遂げようとしています。高齢のOBの方のご意見に「IT分野が大きく変貌しようとしている中、現在実業で活躍するOBの生々しいお話しを取り上げてほしい。」というOBの活躍ぶりも情報としてほしいとのご要望もありました。

OB達も、母校、現役学生だけでなく現業で活躍中のOBの更なる発展を見守っていきいたいという思いが多々あります。NDCも会誌も、そのような思いをサポートできるような役割を担えるようにもっていきたいと思っております。

他にも数々のご意見をいただいております、これらのご意見ご要望は、今後の編集活動にも反映して行く所存です。今後とのご協力をお願い申し上げます。

#### 5. 府大の主なトピックス

(ア) ESDを取り入れた高校生を対象とする宇宙教育事業推進(2015/10/8)

大学院工学研究科航空宇宙海洋系専航空宇宙工学分野 D1 佐々木貴広

茨木工科高校の生徒を府大へ招き実施しました。

日時:10月8日(木)14:00～

参加者:生徒6名,先生3名,事業に携わった大学生3名

感想:宇宙は好きだが専門でない高校生ならではの柔軟なアイデアが印象的でした。

衛星で世界中の兵器を壊すや雪をたくさん降らせて大阪を積もらせるやテストをカンニングするなどユニークなものから、宇宙ゴミを回収するといった実用的なものまで幅広いアイデアが出てきました。1時間というまとまった時間で行うことで集中できたのだと思います。

次回は11月下旬に三国丘高校で活動予定です。

三国丘高校での出前授業

日時:11/24(火) 15:20～

場所:三国丘高校

参加者:生徒40～60名,先生複数名,事業に携わる大学生4,5名を予定

注)ESD(Education for Sustainable Development):持続可能な開発のための教育

※facebookより抜粋:(<http://on.fb.me/1QzXJXh>)

(イ) 府立大7年ぶりV 琵琶湖で鳥人間コンテスト(2015/9/5)

大阪府立大(堺市)は、第38回鳥人間コンテストで学生チームが7年ぶりに優勝したと発表した。人カプロペラ機のタイムトライアル部門に出場し、チーム新記録となる2分2秒29のタイムで優勝した。

コンテストは滋賀県彦根市の琵琶湖東岸で7月25、26の両日に民放テレビ主催で実施。同部門は全長1キロコースで飛行時間の速さを競った。

大阪府立大工学研究科の小木曾望准教授(航空宇宙海洋系専攻)は「横風が強い悪条件の中、チーム新記録で7年ぶりに優勝できた」とコメント。学生の中谷健人さん(3年)は「テークオフに細心の注意を払った」と振り返った。

大阪府立大は1996年以降5回の優勝経験があり、今年で6回目の優勝になる。

※大阪日日新聞WEB記事より:(<http://bit.ly/1lmScr9>)

(ウ) 抗がん剤をエクソソームに入れて腫瘍に運ぶシステムを開発中(2015/6/8)

がん進行・転移に「エクソソーム」が関与。

がん治療の最大の障壁である進行や転移に、細胞が放出するマイクロカプセル「エクソソーム」が密接にかかわっていることが明らかになってきました。その役割は、がん細胞が作る情報物質を他の細胞に運び、増殖や転移につながる反応を引き起こしています。最近、エクソソームについての研究が国内の機関で続々発表されています。

エクソソームは脂質の膜でできた、直径50～100nm(ナノメートル)の微小なカプセルで、多くのがん細胞が放出します。

※「ものづくり、ひとづくり」より抜粋:(<http://bit.ly/1RTIzeS>)

《お願い》

「NDC News」についてお気づきのことや、ご意見等は、

NDC編集係アドレス：[ndc-edit@pe.osakafu-u.ac.jp](mailto:ndc-edit@pe.osakafu-u.ac.jp)

にお寄せ下さいますようお願い致します。

(文責 中百舌鳥電気クラブ 副会長 堀 道明)

以上